



サイコネフロロジー・エッセ
ンシャル
—慢性腎臓病・透析・腎移植
の患者と家族のこころのケ
ア—

西村勝治, 船越 哲, 土谷 健
監訳

エンゲルマン里恵 翻訳編集

日本サイコネフロロジー学会,

日本透析医学会 協力

メジカルビュー社

2022年12月 424頁

本体価格 7,500円+税

本書は、慢性腎臓病 (chronic kidney disease : CKD) に苦しむ患者やその家族に向かい合う医療スタッフのために書かれたきわめて重要な書籍である。

CKDは、身体の内部で静かに進行することから、「沈黙の病」とも称されている。初期段階ではほとんど症状が現れず、患者は病気を自覚しにくいいため、診断が進行段階で行われることが多い。CKDが進行すると、腎機能が急速に低下し、透析や腎移植が必要になることがある。透析治療は通常、週に数回行われ、各セッションに数時間を費やすことが一般的である。これにより、患者の日常生活に大きな制約が生じ、自由な時間や活動が制限されることから、時間に対するストレスや焦燥感を感じることもある。透析治療は慢性疾患に対する長期の対処を必要とするため、患者は未来への不安や病状の悪化に対する心理的な負担を感じる。また、治療が継続的であるため、無関心化やモチベーションの低下につながる。このような状況に直面する患者とその家族は、身体的な健康の問題だけでなく、精神的なストレスや負担も抱えることが多い。さらに腎移植手術は大規模な外科手術であり、手術自体への不安や恐怖が患者に影響を及ぼす。手術に関する不安や合併症への心配、さらに手術後の痛みに対する不安なども含まれる。腎臓提供者 (通常は家族や友人など) も、腎移植手術に関

連して精神的な苦痛を経験することがある。腎移植が成功した後でも、移植した腎臓が再び悪化する可能性があることに対する不安が患者を悩ませることもある。

本書は、こうした課題に向き合う手助けを提供するための貴重な情報源である。科学的なアプローチを通じてCKDと心の健康の相互関係を説明し、最新の研究をもとに、腎臓病患者が精神的な影響をどのように受ける可能性があるかを示している。具体的には、CKDの進行が不安、うつ病、ストレスなどの精神的な健康問題を引き起こす可能性があることを示唆している。

本書はまた、患者と家族が日常生活で直面するさまざまな課題に焦点をあてており、治療に関する意思決定、ストレスと不安の管理、コミュニケーションの向上などに実用的なアドバイスを提供している。患者や家族は治療を通してしばしば医学的な情報に接することになるが、それを理解しやすい形で提示している。

本書のもう1つの強みは、非常にわかりやすいスタイルで書かれていることである。専門的な用語を極力避け、誰もが理解しやすい言葉で記されており、医学的な背景をもたない読者にもアクセスしやすくなっている。これは、患者と家族が情報を収集し、実際の生活に適用するのに役立つと思われる。

本書は、CKDやその治療に関連する患者とその家族に向かい合う医療スタッフにとって、非常に価値のある資源である。著者らの科学的な知識と同時に、共感と人間的な理解を提供するスタイルが、この書籍の魅力の一部である。読者に情報を提供するだけでなく、希望と支えをもたらすことができるだろう。そして、CKDという難しい状況に立ち向かう医療スタッフを含めたすべての人々に寄り添い、彼らの心の健康と生活の質を向上させる助けになると確信する。

(古郡規雄)